

平成28年第4回市議会定例会における主な課題対応

総務部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
<p>【一般質問】 (吉岡建二郎議員)</p> <p>○移住定住助成制度について ・民間賃貸住宅を利用する若者世帯、単身世帯の実態調査の実施と若者移住定住促進家賃助成制度の実施について伺う。</p> <p>・移住定住促進助成制度の本年度の助成件数が0件だが今後の対応について伺う。</p>	<p>実態調査については、個人情報等の入手に関する課題もあることから、別の手法も含め、慎重に検討を行う。 家賃助成については、実施する予定はないが、引き続き様々な観点から、助成制度の拡充について、慎重に検討を行う。</p> <p>美唄市移住・定住推進協議会の皆さんと一緒に関係企業等のPR活動の行うほか、広報紙メロディーや市のホームページ等での周知に努める。</p>	<p>若者世帯、単身世帯の実態調査については、市協議会と検討を行ったところ、現時点では有効な手法は無く、引き続き、調査・研究を行う。 助成制度の拡充については、市協議会と通勤費の助成に関して、検討を重ねており、平成29年度の制度化に向けて、予算要求を行う予定。</p> <p>助成制度のPRについては、メロディー2月号に掲載するとともに、1月15日開催の移住フェアでの周知に努める。</p>

平成 28 年第 4 回 市議会定例会における主な課題と対応

市民部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
<p>【一般質問】 (吉岡建二郎議員)</p> <p>○乳幼児・子供医療費への助成 ・現在行っている助成の対象者・実績額は ・また、財政健全化は、平成 27 年度で終了したことから更なる助成額の拡充ができるのではないか、小学生及び中学生まで拡充した場合の対象者と助成額について伺う。</p>	<p>・現在行っている小学校就学前の医療費自己負担全額助成は、対象者 713 人、助成額は 2,025 万 8 千円となっている。</p> <p>小学生及び中学生まで拡充した場合の対象者と助成額については、小学生の対象者は、666 人で助成額は約 2,400 万円。中学生の対象者は、362 人で助成額は約 1,000 万円で、乳幼児から中学生までの合計額は、約 5,400 万円が見込まれる。</p> <p>(市民課)</p>	<p>・空知管内 10 市では 4 市が中学生まで助成している状況。健全化は平成 27 年度で終了しているが、財政状況は依然厳しい。制度拡充については、段階的実施を含め、今後 4 年間の推計事業を示す「事務事業インデックス」のなかで総合的に検討したい。</p>
<p>○基準地価について ・北海道は、本年 7 月 1 日基準日の地価調査概要で、本市は商業地では全国 1 位、住宅地においても全国 3 位の下落率と発表した。市長はこの結果をどのように受け止め、将来的な展望や市の振興策をどのように考えるか。</p>	<p>・基準地価については、本市においては、道が選定している 5 カ所の地価調査により、商業地の下落率が前年比マイナス 8.8%、住宅地は東明地区の下落率が前年比マイナス 9.6% と下落率が高い状況である。人口減少や高齢化などから中心市街地の商店街は空洞化が進んでおり、土地などの取引事例も少ないとから不動産価格の下落につながり、本市経済に厳しい状況を与えると認識している。</p> <p>(税務課)</p>	<p>・本市は、札幌市と旭川市を結ぶ交通網の中間という地域特性や宮島沼など多くの観光資源を有している。これらを有効に活用しまちの活性化につなげるため、関係機関と連携し、SNS を活用した食や観光等の情報発信や PR 活動、移住定住の促進などに努めることにより土地活用に繋げていく。</p>

平成 28 年第 4 回 市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
<p>【予算特別委員会(補正)】 (吉岡建二郎議員)</p> <p>○最終処分場水処理施設に設置してあるばっきブロワーが落雷で故障とのことだが、落雷を予想し対処していなかったのか。また、今後どのように対処するのか</p>	<p>・今回落雷で故障したのは予備のばっきブロワーが落雷で故障したもの。避雷針は設置しているものの、落雷の対処はしていない。</p> <p>今後の対応については、今回の補修の中で部品交換の際に落雷等による過電流を防止すべく、逆流防 止弁を合わせて組み込む予定である。</p> <p>(生活環境課)</p>	<p>・今回の修繕については、逆流防止弁を組み込む処置とするが、今後については、修理等行うときに、財政面も考慮しながら必要な対処をしていく。</p>

平成28年第4回市議会定例会における主な課題と対応

保健福祉部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
<p>【一般質問】 (松山議員)</p> <p>○将来に向けた市立保育所、へき地保育所の編成についての考えは。</p>	保育士確保、へき地保育所の入所児童の減少、保育料などの課題があり、その解決に向けて検討する。	へき地保育所の入所児童数の推移や特保協と継続した協議に加え、ピバの子保育園の運営状況等を分析するなどして検討を行う。
<p>(川上議員)</p> <p>○不妊治療について、本市独自の助成制度を創設にしてほしい。</p>	他市町村の取組み状況を調査し、制度の創設に向け検討をしている。	新年度の予算化に向けて検討中。
<p>【予算審査特別委員会】 (川上委員)</p> <p>○新病院の建設に伴つて、病児保育事業の切れ目のない継続した実施を。</p>	新病院及び保健福祉総合施設の建設に向けて、準備を進めているところであり、継続して事業が展開できるよう検討を加え、適切な施設運営に努める。	事業の継続性の観点から、病院建設の工期にあわせて、先行して準備を進める。

平成28年第4回市議会定例会における主な課題対応

経済部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
<p>【一般質問】 (谷村議員)</p> <p>・産地交付金について 本年度の産地交付金が減額となり、来年度の配分減少が危惧される。市は農業者の所得確保についてどのように考えているか。</p>	<p>これまで道市長会などを通じて経営所得安定対策の充実を求めてきたが、本年度の事態も踏まえ、同対策の十分な予算措置や地域事情に合った産地交付金算定を行うよう再生協議会や市長会などを通じて要望していきたい。</p>	<p>国・道事業に係る知事・道議あて要望書の提出に当たり「農業所得確保に向けた経営所得安定対策制度確立の推進」として同対策の十分な予算確保を求める要望項目を加え、次のとおり提出した。 12/16 空知総合振興局長 12/21 知事（農政部）</p>

平成28年第4回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
<p>【一般質問】 (吉岡文子議員)</p> <p>公園などのトイレについて、通年24時間利用可能なトイレが必要と思うが、考えを伺う。</p>	<p>現状において、いたずらにより器物が損壊し利用者に不便を掛けた事例もあり、通年24時間利用を可能とするには、夜間の警備や通報装置の整備など、防犯上の対策が特に必要となることから、公園やコスモス通のトイレについては、今後も現行のとおりの管理をしていく。</p>	同左
<p>(土井議員)</p> <p>水道事業経営の見通しについて</p>	<p>水道料金改定により料金算定期間内での資金剩余金は確保できるが、今後、人口減少による減収が見込まれ、経営は厳しい状況が続くものと考えられることから、事務事業の見直しによる人件費の削減、有収率の向上に努め、必要以上の市民負担とならないよう事業経営に取り組んでいく。</p>	事務事業の見直し等を行う。

平成 28 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

質問要旨		答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1	学校のトイレの洋式化を進めるべき。 (一般質問：松山議員、吉岡文子議員)	市内全体では、目標値の洋式化率 60%以上を達成しているが、洋式化率が低い学校については、学校の状況を踏まえ検討する。	○H29 年度予算で要求予定。 対象校：茶志内小学校 洋式化率 18.2%
2	コミュニティ・スクール導入の考え方を伺う。 (一般質問：川上議員)	来年度、準備が整った学校から、順次導入したい。 最終的には、全ての小中学校で導入したい。	○H29 年度 導入見込 小学校 3 校 中学校 1 校 今後、設立準備会を設置し、準備を進める。
3	総合体育館のトイレの洋式化、多目的トイレの設置、車いすでの利用が可能なシャワーの整備に対する考え方を伺う。 (一般質問：松山委員)	合宿誘致を進める上では、必要不可欠な条件と考えております、利用者の皆さんに不快感や不便を感じさせないよう、前向きに検討する。	○ H29 年度予算で、実施設計委託料を要求予定。